

議事録

R7.12.25 記 測

令和7年度第5回一般社団法人神奈川県剣道連盟 理事会

日時：令和7年12月18日（木） 18時00分 ～ 20時30分

場所：かながわ県民センター 2階 ホール

出席 本部理事：23名 支部理事：38名 監事：2名
(欠席 本部：1名)
過半数以上の出席により定足数を満たし成立した

(以下敬称略)

資料

レジュメ

- 資料1 一般社団法人神奈川県剣道連盟 ハラスメント対策
- 資料2 一般社団法人神奈川県剣道連盟 通報制度運用管理規程（案）等
- 資料3 一般社団法人神奈川県剣道連盟 個人情報保護方針改訂（案）
- 資料4 令和6年度剣道研究会既報告事例(1)（事前配布済みの為当日配布無し）
- 資料5 令和6年度剣道研究会既報告事例(2)（事前配布済みの為当日配布無し）
- 資料6 追加事例
- 資料7 剣道未経験者の保護者へのアンケート
- 資料7-2 海外剣士が剣道に感じる魅力と、スポーツハラスメントの原因と対策
- 資料8 剣友北海道コラム
- 資料9 学校部活動の地域連帯 地域展開の現状を読み解く
- 資料10 県スポーツ課との意見交換について
- 資料10（改訂）公立中学校部活動改革に対する神奈川県剣道連盟の取り組み
- 資料11 全日本剣道連盟 称号・段位委員会からの調査依頼について
- 資料12 全日本剣道連盟 登録料の改定に関するご意見伺いについて
- 資料13 各種委員会報告書
- 別紙 アジア・オセアニア剣道連盟設立のお知らせ

議長

野見山 延 （議事進行：伊藤 龍紀）

議事録署名人

代表理事

野見山



監 事

滝澤



監 事

吉野



議事録作成者 測 愛美

1. 一開 会— 18:00

2. 会 長 挨 拶

3. 表彰・紹介

全剣連有功賞 田口 哲朗先生（小田原） 小林 光雄先生（杖道部）

剣道八段 森川 信幸先生（横須賀）欠席の為、次回合同稽古会にて表彰

第73回全国青年剣道大会 女子個人 優勝 鈴木 光

女子団体 優勝 瀬川千賀子 鈴木 光 榎本 琴音

4. 議 題

【報告事項】

（1）神奈川問題について（重富）

対象者4名中2名については合意書を締結の上返金済、もう2名については訴訟中。

質疑

①刑事事件として告訴できないのか。

（重富）選択肢としてもっているが、実務的難しさがある。

【重要案件】

（1）ハラスメント対策について（伊藤） 資料1 参照

資料1 記載通り。太字の箇所は注視。

全剣連への相談のあった神奈川県内の2件の相談については、倫理委員会にて調査・対応済。

（野見山）7カ月の間に全剣連への実名での相談が33件、そのうち神奈川県が2件あった。

匿名での相談もあり、実名を記した文章での提出を依頼したが、厳しいとの回答があった。

神奈川県にパワハラが浸透しており、この問題によく取り組んでいかないと会員数の増加は絶対に見込めない。

【協議事項】

（1）県連 通報制度運用管理規程（案）、お知らせ（案）について（伊藤） 資料2 参照

資料2 記載通り。

質疑

①各支部にてハラスメント窓口を設置しそこに相談が来た場合、県連に報告する義務はあるのか。

（伊藤）報告は必須で、内容によっては、県連とともに対応しなければならない事案も想定される。

規定案に基づきホームページに公開することについて全員賛成。承認。

12/19 ホームページに公開。

（2）県連 個人情報保護方針の改訂（案）について（伊藤） 資料3 参照

資料3 記載通り。新旧対照表を用いり説明。

質疑

①審査を受ける時に短冊に個人情報を記入するが、その運用目的はこの中のどれに入るのか。

(伊藤) 4.個人情報の利用目的「・大会、講習会、研修会等の運営および関連資料の送付」に含まれる。

個人情報保護方針の改訂(案)について全員賛成。承認

【報告事項】

(2) 剣道人口関連 会員増加策について

①令和6年剣道研究会 既報告事例 1) 養浩館 資料4 参照

2) 剣桜会 資料5 参照

②追加事例 1) 剣桜会 資料6 参照

(野見山) 神奈川県剣道連盟では、剣道人口の減少とハラスメント問題は不可分の課題であるとの認識のもと、約4年前から継続的に取り組み、この問題を選けたまま剣道人口の拡大は困難である。

これまでの剣道研究会においては、令和5年にハラスメントをテーマとした提案を行い、令和6年には「実例提示」の必要性から、養浩館(SNS活用)および剣桜会(ロコミ中心)の2団体により、会員数増加の実例が紹介された。両団体に共通する点として、厳しい稽古を維持しつつも、威圧的・ハラスメント的な指導がなく、こども・保護者双方からの信頼を得て、入会増加につながっていることが確認された。

今回配布した資料(資料6)には、感覚論にとどまらず、NPS(推奨度指標)による自己評価方法や、他地域の事例(資料8)も配布している。各支部において資料の共有・活用をお願いしたい。なお、これまでの取り組みおよび研究会アンケート全文は、連盟ホームページに掲載している。

(資料9)は 中体連の受け皿について、スポーツ少年団および地域の大きな会社の関係者3名がパネリストとして意見を述べている。詳細については、資料9を参照。

佐藤まり子先生による講演 資料7、資料7-2 参照

資料7、資料7-2 記載通り。

アンケートでは、剣道人口の増加や仲間づくりへの期待が最も多く、認知度向上、伝統の継承、保護者負担軽減や指導・運営改革が課題として挙げられた。

また、海外剣士の事例から、剣道は自己鍛錬と国際的な交流の場として評価されており、ハラスメントを排した環境づくりの重要性が示された。

神奈川県剣道連盟の取り組み 資料10 改訂参照

資料10 改訂記載通り。

(伊藤) 県連としては、各支部が各教育委員会とコミュニケーションが取りやすいよう、また国及び県全体の動きを把握しながら皆さんに情報を共有していきたいと思う。

(野見山) 現在、部活動の在り方は非常に大きな課題となっている。

ある中学校では、校内施設を活用し、外部指導者を受け入れることで、従来の部活動と実質的に同等の活動を継続する方向で、協議が概ねまとまりつつある。

また、支部においても、支部単位で本課題に対応する特別チームを設置し、来年3月までに体制整備を進める取組が行われている。

相談窓口の設置を求める意見もあるが、具体的な課題が示されなければ対応が困難であるため、各団体に於いて主体的に取組を進めた上で、必要に応じて相談を受ける方針とする。

なお、拡大幹部会議の総括はホームページに掲載しており、検討人口を増やすための提案も記載している。来年度については、中学校部活動の問題から次の段階へ進む必要が生じる可能性があるため、本件を各自の課題として捉え、引き続き検討をお願いしたい。

(3) 全日本剣道連盟 称号・段位委員会からの調査依頼について 資料 11 参照

資料 11 記載通り。

65 歳以上（受審資格）規則第 17 条改定案について全員賛成 **承認**。

4 月から実施する方向性で動いている。

(4) 全日本剣道連盟 登録料の改定に関するご意見伺いについて 資料 12 参照

資料 12 記載通り。

(野見山)全剣連が財政難のため称号・段位登録料の値上げをおこなう予定であり、意見伺いであるが、全国的に了承が得られたため、4 月から実施予定である。神奈川県としての値上げはないが、全剣連改定分を上乗せせざるえないため、後日、神奈川県の登録料は報告をする。

(5) 段審査に関わる問題事項について

(伊藤)2 重登録による審査受審・地区での手続き忘れによる受審できなかった事例があったため、申込時によく注意を払うよう。

事例①神奈川県での申込に間に合わなかったため、職場のある東京都で登録・受審し合格した。

→申込時点で、東京都に登録されることとなり、神奈川県の登録を直ちに退会する必要がある。

神奈川県に復帰したい場合は、改めて手続きをする必要がある。

②地区に受審申込をしたが、その後の手続きがされず、連絡がなく受審ができなかった。

→別会場にてその後速やかに受審できるよう手配を行ったが、当人らの都合がつかなかったため、年度をまたぐが来年 4 月に受審することとした。個人の権利を侵害してしまうこととなるため、特に注意する必要がある。

(6) 神奈川武道祭について

(伊藤)居合道・杖道の参加、女子講習会の開催（200 名ほどの参加）を追加でおこなったため、当初の予算より、演武者・講師の交通費として 155,980 円の追加経費がかかった。

全員賛成 **承認**。

(7) 令和 8 年度 全剣連後援 剣道講習会（幼少年女子）について

令和 8 年 10 月 18 日（日）に県立武道館を申込。

全剣連から採用、県立武道館の確保ができれば開催となる見込み。

(8) 学校法人ホライゾン学園への剣道指導者の派遣について

県連が依頼を受け、加藤 初美先生（教士七段）を派遣。

(9) 令和 7 年度神奈川県剣道連盟功労賞受賞者について

レジュメ記載通り。

- (10) 令和7年度 少年剣道教育奨励賞の決定について（受賞21団体）
レジュメ記載通り。
- (11) 令和7年度 神奈川県スポーツ優秀選手表彰について
レジュメ記載通り。
- (12) 令和7年度 幼稚園児の剣道修了者に対する修了証の贈呈について交付方法
レジュメ記載通り。
- (13) 各種委員会報告について 資料13 参照
資料13 記載通り。
総務委員会（飛知和）、倫理委員会（伊藤）、審査委員会（田島）、大会委員会（川村）
審判委員会（岡見）、普及・指導委員会（石原）、居合道委員会（久保）、杖道委員会（大竹）

【大会・講習会等予定】 レジュメ記載通り

- (1) スポーツ庁委託事業 授業協力者養成講習会について
受講者：73名 → 72名
- (2) 全剣連主催 第30回女子剣道審判法講習会について
- (3) 令和7年度神奈川県剣道連盟 新年会について
出席者：175名 → 176名
- (4) 第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会神奈川県予選会について
- (5) 指定審査員・審判員研修会について
- (6) 神奈川県称号審査会について
- (7) 剣道六・七段審査会について
- (8) 剣道四・五段審査会について
- (9) 剣道（剣道形）講習会について
- (10) 剣道六・七段受審者講習会について
- (11) 第24回神奈川県剣道祭について

【大会結果】 レジュメ記載通り

- (1) 第60回 全日本居合道大会
- (2) 第50回 神奈川県母子剣道大会・神奈川県東西対抗剣道大会
- (3) 第37回全国健康福祉祭ぎふ大会
- (4) 第52回 全日本杖道大会
- (5) 第41回全国道場対抗剣道大会・全国道場少年剣道選手権大会
- (6) 令和7年度第69回 全国警察剣道大会（団体戦）
- (7) 第64回全日本女子剣道選手権大会・第73回全日本剣道選手権大会
- (8) かながわシニアスポーツフェスタ 2025
- (9) 第73回全国青年大会

(10) 第72回神奈川県高等学校新人剣道大会

(11) 第72回神奈川県剣道大会

【審査会結果】

①剣道審査会合格者

- 11月8日(土) 愛知県〈剣道七段〉合格者9名
- 11月9日(日) 愛知県〈剣道六段〉合格者5名
- 11月14日(金) 東京都〈剣道七段〉合格者34名
- 11月15日(土) 東京都〈剣道六段〉合格者63名
- 11月20日(木)(一日目) 日本武道館〈剣道八段〉合格者1名
- 11月20日(木) 日本武道館〈剣道錬士〉合格者59名
- 11月20日(木) 日本武道館〈剣道教士〉合格者38名

②居合道審査会合格者

- 11月20日(木) 日本武道館〈居合道錬士〉合格者7名
- 11月20日(木) 日本武道館〈居合道教士〉合格者4名
- 11月30日(日) 東京都〈居合道六段〉合格者14名
- 11月30日(日) 東京都〈居合道七段〉合格者10名

③杖道審査会合格者

- 11月20日(木) 日本武道館〈杖道錬士〉合格者3名
- 11月20日(木) 日本武道館〈杖道教士〉合格者1名

質疑

①ハラスメント相談窓口を支部ごとに設置するよう依頼があったが、その場合、通報者と被通報者が身近な関係となることが想定される。そのため、通報者の個人情報を十分に保護できるのかについて、強い懸念がある。神奈川県剣道連盟の相談窓口を案内する対応とすることはできないか。

(伊藤)県連に直接相談が来る可能性はあり、その場合に、県連がそれを所管するのか、支部でそれに対応するのか、内容によって変わってくる。まずは支部で対応できる体制を今から準備をお願いしたい。

支部の問題はなるべく支部で片付ける、解決するということが基本だと思い、実情に応じてその体制作りを検討していただきたい。

滝澤監事より報告

2月の理事会時、令和7年度会計の科目の組み替えを事務局をお願いしてある。2月の理事会に提案される見込み。総額は変わらないと予測している。

5. その他

(1) 事務局の年末・年始休暇について

12月29日(月)～1月6日(火)

(2) アジア・オセアニア剣道連盟設立のお知らせ 別紙参照

初代会長に全剣連副会長“蒔田 実”先生が就任。

各自で別紙を要確認。

(3) 港北区 天本 保先生 JICA の派遣で2年間アルゼンチンのブエノスアイレスへ。

6. 閉 会

閉会挨拶 (佐藤)

※次回は事務局長会議 2月12日(木) 18時～ かながわ県民センター

以上